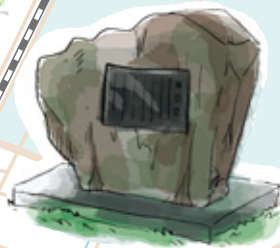
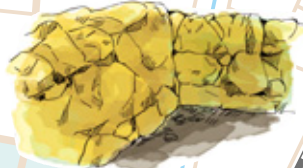
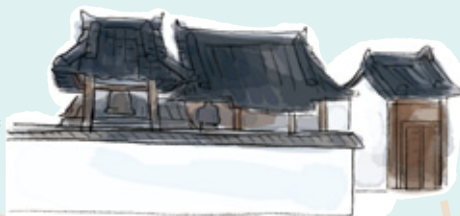
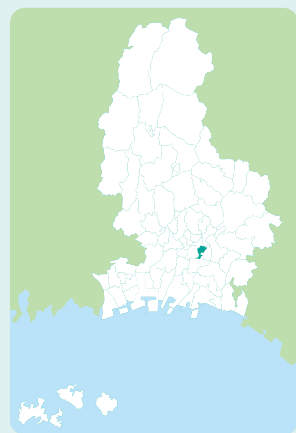


1

じょうとう

城東地区

別紙MAP
E-6・7



- | | |
|--------------|---------|
| 遺跡・史跡、歴史上の名所 | 伝統芸能など |
| 神社・仏閣、歴史的建造物 | 景勝 |
| 歴史上の人物など | 生物・花 |
| 祭り 伝統行事 | 町並み |
| 美術品 | etc その他 |

0m 250m 500m

河合惣兵衛氏の碑(外濠公園)



姫路藩で尊王攘夷派のリーダー格として知られた河合惣兵衛完元は、中級藩士。元治元年(1864)12月尊王攘夷派の弾圧事件「甲子の獄」で自害。もとは、旧河合邸跡(現在地北200m)に建立されていた。昭和43年外濠公園に再建。



外堀川

etc

城を囲む三重の堀のうち、外堀沿いの一番外側の区画を外曲輪という。外堀は、中堀に続いて野里門から清水門に至り、船場川を利用し、南は山陽本線の北を東へ。東は外京口門を北上し、竹之門を経て野里で終わる。堀の終点を堀留という。



空爆の碑



川西航空機姫路製作所跡。姫路は、昭和20年6月22日午前10時半頃の空襲、7月3日深夜の焼夷弾による空襲により焦土と化した。犠牲者の霊を慰め、人命の尊厳と平和を希求し戦争が無くなる事を念じ、平成8年城東地区連合自治会建立。



竹之門跡



外堀の東北にあり鬼門に当たるので、これを嫌い木の門(鬼門)から竹の門(他家の門)といった。南から北に向かう堀がここで大きく西に折れ、いわゆる堀留へと続く。



国府寺町観音堂(十一面観音菩薩像)



雲城山桜谷寺(現東光中、姫路高女建設に伴い廃寺)観音堂に祀られていた。姫路城主本多家に縁がある。明治41年大修理(4回目)後に町民が観音講を結成し祀る。昭和4年心光寺に引継がれる際、町民懇願により尊像を譲り受けた。



寺町すじ



姫路城の東側には多くの寺院が集まっている。池田輝政が姫路城の縄張りに際し、この地域に寺院を集めた。東からの攻撃には寺院に兵を入れ外京口門の備えとし、西からの攻撃にはここを最後の砦とするためであったと言われる。



真宗寺



明和6年播磨国飾東郡国府寺村宇屋総道場、真宗寺と寺号許可され木佛一体を本願寺より下附(大正元年城東町と改名)。大正7年に日本毛織(株)建設のため、堀を埋めて現在地に移る。境内に大正15年建立の国府遺蹟碑がある。



白山神社



元文元年(1736)に城東町宇屋に創立、文政12年(1829)に社殿を再建、明治7年に村社に列せられる。大正7年に現在地に移転、平成2年から再建し、平成9年完成。姫路で唯一の白山信仰の白山姫命を祭神とする神社。



外京口門跡



外曲輪の5つの門の一つ。京都への道筋にあるので「京口」となり、中曲輪の内京口門に対し「外」と付けた。鉤型特殊な樹形をした門。明治に撤去され跡地には東光中学校が建ち、体育館地下には石垣の一部が保存されている。



昼着堂跡



奈良末期に稚日女尊を本祀とし、大歳神と宇迦之御魂神を合祀し、ヒルツキ(日月社)と称する国内神名帳の古社。天正9年秀吉が昼着社と改めた。秀吉が腰掛けた「太閤石」は城東小南の五社稻荷神社に残る。



1 地域夢プランの歩み
〜はじまりからこれまで〜

2 地域夢プランのかたち
〜取組の類型化〜

3 地域夢プランのとりえ
〜検証と未来へのアプローチ〜
(1) 「姫路市地域夢プランの構築」

3 地域夢プランのとりえ
〜検証と未来へのアプローチ〜
(2) 地域資源を活用したまちづくりと展望

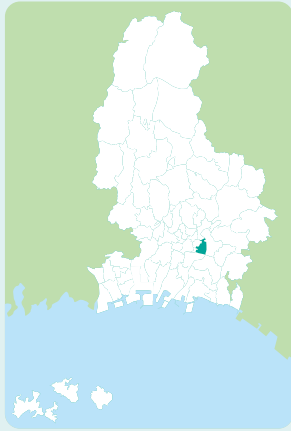
4 地域資源の全リスト
〜地区からの情報発信〜
(1) 地区ごとの主な地域資源

4 地域資源の全リスト
〜地区からの情報発信〜
(2) 地域資源一覧

2

ひがし 東地区

別紙MAP
E-6・7



大日墓地の六地藏と石仏



播但線

宝蔵院



宝積寺



市川堤防の桜

九所御霊天神社(神屋天神)



西国街道(旧山陽道)

2



市川の渡し

東小学校

明泉寺



市之郷の薬師堂
(市之郷廃寺塔心礎)

山陽本線
(JR神戸線)



市川橋



- | | |
|------------------|------------|
| 遺跡・史跡、
歴史上の名所 | 伝統芸能
など |
| 神社・仏閣、
歴史的建造物 | 景勝 |
| 歴史上の
人物など | 生物・花 |
| 祭り
伝統行事 | 町並み |
| 美術品 | etc その他 |



0m 250m 500m

市川堤防の桜



昭和 59 年に姫路中央ライオンズクラブが設立 20 周年を記念して市川右岸道路東側にソメイヨシノ(100 本)を植樹。平成 6 年に西側にも 80 本余りのソメイヨシノを植樹。今ではいずれも大樹に育ち地域の名所になっている。



市川の渡し



江戸時代には、橋はなく大名や庶民が利用する渡し舟があり、渡し場には姫路藩御伝馬船が 1 艘、渡し守が 12 人いた。湯水期には、渡し場上手に板の橋を架けて渡った。明治 8 年に橋が架かるまで渡しは続いた。



市川橋



明治 8 年初めて橋が架けられた。幅が狭く欄干も申し訳程度であったが、当時、県下一の長さ(490 m)だった。明治 22 年の洪水で一部が流失。明治 41 年に鉄橋が架けられ、昭和 16 年に今の橋が完成するまで使われた。



市之郷の薬師堂 (市之郷廃寺塔心礎)



播磨鑑に「下市之郷村の薬師は、今ここを築地という」とあり、周辺は白鳳期創建寺院跡で、昭和 25 年頃までは布目瓦が出土した。廃寺の塔心礎は昭和 33 年山陽本線電化の際、現在の薬師堂に移される。「大門」という字名が残る。



九所御霊天神社(神屋天神)



「九所御霊」の名は、天正の頃、五座の神霊を祀っていたが、近世に小名彦命を主神とし、他の大物主命・菅原道真ら九所(九柱の神)の御霊を祀ったからと伝わる。玉垣に江戸期の木綿商人や明治期の企業名がある。通称「神屋天神」。



西国街道(旧山陽道)



市川の渡しから城内に入る外京口門へとつづく道が西国街道(旧山陽道)。今なお、当時をしのぶ細く曲がった道がつづく。今は、道中が神和町で旧街道が途切れているが、ここでは昔の町並みの風情がまだ少し残っている。



大日墓地の六地藏と石仏



大日墓地には、六地藏と石仏(享保十七年七月吉日と明記)がある。ここを通る人々の安全を願う道祖神の役割を果たしていたと思われる。



宝積寺



黄檗宗寺院で本尊は地藏菩薩。1771 年に檀溪禪師が建立。芭蕉の門人の推然坊が首だけの像を持ち諸国行脚していたところ同門の人がその像の全体を完成させた。明治期にその像を宝積寺住職が預かり、観音堂を建てて祀った。



宝藏院



慶長年間に創立された真言宗の寺院と伝えられる。本堂の棟瓦には、深志野の瓦師で嘉永 3 年と記されており、この時期に建て直しが行われた。太平洋戦争以前は、毎年 7 月に「祇園さん」という夏祭りが行われていたようである。



明泉寺



慶長年間、尼寺として今の古二階町に建立。明治 4 年郵便局建設で、市之郷の現在地に移築。当時、赤珊瑚や白珊瑚で菊や虎の絵が描かれた豪華な襖や屏風があったが、昭和 20 年の空襲で一部を除き、焼失。昭和 26 年に本堂を再建。



1 地域夢プランの歩み
～はじまりから～

2 地域夢プランのかたち
～取組の類型化～

3 地域夢プランのとりえ方
～検証と未来へのアプローチ～
(1) 「姫路市地域夢プランの構築」

3 地域夢プランのとりえ方
～検証と未来へのアプローチ～
(2) 地域資源を活用したまちづくりと展望

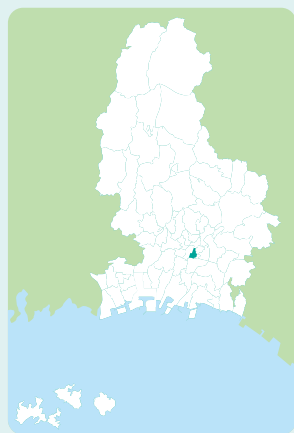
4 地域資源の全リスト
～地区からの情報発信～
(1) 地区ごとの主な地域資源

4 地域資源の全リスト
～地区からの情報発信～
(2) 地域資源一覧

3

じょうそん 城巽地区

別紙MAP
E-6・7



- | | |
|------------------|------------|
| 遺跡・史跡、
歴史上の名所 | 伝統芸能
など |
| 神社・仏閣、
歴史的建造物 | 景勝 |
| 歴史上の
人物など | 生物・花 |
| 祭り
伝統行事 | 町並み |
| 美術品 | etc その他 |



0m 250m 500m

赤鹿神社



姫路八代の御茶屋屋敷に祀られていた稲荷神社(土地の赤鹿氏にちなんで赤鹿神社と称した)が、池田家転封の時に城内に移され、明治維新の時に現在地に移転。戦前は米穀取引所も近く、有力者の信仰を集め、玉垣に名残が見られる。



善導寺



寛仁2年(1017)誓忍阿闍梨の開基で、もとは榎本にあった。輝政の町割りで現在地に移る。勤王派の志士、河合惣兵衛と伝十郎親子の菩提寺で、没後140年にあたる平成16年に新しい顕彰碑を建立。およしギツネの伝説が伝わる。



射楯兵主神社(播磨国総社)



飾磨郡伊和里に祭られた兵主大神(大国主命)を、天平8年(736)水尾山に崇祀。延暦6年(787)国衛荘小野江の榎本(国立病院付近)に遷座。のち、飾磨郡因達里に祀られた射楯大神(五十猛命)を遷し合祀、射楯兵主神社と号す。



血乃池跡碑



大永元年(1521)7月赤松義村によって行われた修羅踊りで負傷者が多く出て、この池の水で洗えば血がとまったとか、また、戦いの後、この池で武具の血を洗い、修羅踊りで戦勝を祝ったなどと伝わる。



切手・木綿会所跡



江戸末期、酒井家の家老河合道臣(寸翁)は、藩の財政改革のため、文政3年(1820)、切手会所を設け銀札・銭札を発行し、翌年国産木綿会所を併設して、木綿切手を発行した。



幡念寺(慢年寺)



三河国吉田(現豊橋市)にあった悟真寺の海牛(寒牛)和尚の開基といわれ、法然上人系の弘願説もある。浄土宗。輝政の町割りにより現在地に建立。境内に延命地蔵があり、飢饉の時に人々に餅を与えたので、餅売り地蔵と尊崇された。



霜月祭



播磨国総社の大祭。約820年前、安徳天皇の養和元年(1181)11月15日に播磨国16郡の大小明神百七十四座の神々を播磨国総社に合わせ祀り、播磨国総社となった日を祝して執り行われている。



本町遺跡



姫路郵便局周辺では、昭和56年の発掘調査により、古代の播磨国府系の瓦、建物、塀などの遺構が発見された。播磨国府跡と見られている。



神明神社



摂津国玉造から、天正期(1573~92)に移して祀られた。祭神は天照大神。戦前は、大阪の堂島天神祭に準じて、7月25日に例祭が行われたが、これは近隣の姫路米穀取引所の意向によるものであった。



元逓信省姫路電信局



市内に電話が開通したのは明治40年ごろ。当初の加入者は381件で、磁石式交換機が用いられていた。共電式交換方式に変わったのが昭和5年で、建物はそのころ建設されたと考えられている。市の都市景観重要建築物等に指定。



1 地域夢プランの歩み
〜はじまりからこれまで〜

2 地域夢プランのかたち
〜取組の類型化〜

3 地域夢プランのとりえ方
〜検証と未来へのアプローチ〜
(1) 姫路市地域夢プランの概要

3 地域夢プランのとりえ方
〜検証と未来へのアプローチ〜
(2) 地域資源を活用したまちづくりと展望

4 地域資源の全リスト
〜地区からの情報発信〜
(1) 地区ごとの主な地域資源

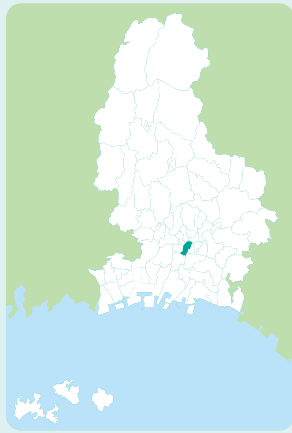
4 地域資源の全リスト
〜地区からの情報発信〜
(2) 地域資源一覧

4

じょうなん

城南地区

別紙MAP
E-6・7



- 遺跡・史跡、歴史上の名所
- 神社・仏閣、歴史的建造物
- 歴史上の人物など
- 祭り・伝統行事
- 美術品
- 伝統芸能など
- 景勝
- 生物・花
- 町並み
- etc その他



0m 250m 500m

お菊神社



十二所神社の境内にある。小寺則職の奥女中として仕えていたお菊は、若くして病床に伏した則職の病全快を祈願するために十二所神社に参拝していたが21歳で命を落とす。お菊の忠節に心を打たれた則職は、神社を建て霊を慰めた。



大將軍神社



南畝町の西北端にあり、十二所神社のお旅所となっている。陰陽思想の方位の大將軍を祀った地とされる。坂上田村麻呂の寄進による將軍田という説もある。



長壁神社



長壁大神は光仁帝の継嗣刑部親王と娘富姫の二神で、姫山の地主神として歴代城主は祭祀を重ねた。代々の守護職、国司から厚い保護を受け、一般の人々からも尊敬を受けた。長源寺に日供所が設けられていたが、大正末に分離した。



中之門



本町にあり、中曲輪正面五門の中央を占めたので中之門と称した。内外両門を以て桁形を成し、外門は南向き、内門は東向き。外門は掖門附高麗門で、内門は掖門附櫓門、外門の外には大番所があった。内門の南側に櫓があった。



札の辻



江戸時代、法度・人相書きなどの触書を記した高札場が、中門筋と西国道の交差する、城下町で最も多くの人々が往来する此の辻の南西角に建てられていた。平成11年、城南連合自治会により、文化財サインがこの辻に設置された。



白鷺小学校(旧城南小学校)



明治6年船場本徳寺内に創立の則地小学校が前身。明治9年福中内新町に校舎を建て城南小学校と命名。生徒数は県下最大。平成21年旧城巽小学校と統合され白鷺小学校となり、白鷺中学校とともに市最初の小中一貫校となった。



志士の碑



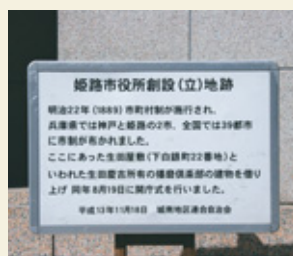
江戸末期、姫路藩は動乱の渦に巻き込まれ、佐幕派と勤皇派が激しく対立。元治元年(1864)尊皇攘夷派の志士、河合宗元ら同志8名は捕えられ処刑された。世に「甲子の獄」という。大正5年、獄舎、処刑場の跡に記念碑を建立。



姫路市役所開庁地



明治22年4月に市制が施行され、8月に下白銀町の旧生田医院跡を借り上げ市役所が開庁した。明治30年北条口の新庁舎に移るまでは、周辺に裁判所などが置かれ、市の中心部であった。



十二所神社



十二所神社の祭神は少彦名神。延長6年(928)一夜で蓬草十二本が林立し、神の御告げと大將軍の地に社を建て、十二所権現として尊崇した。安元元年(1175)姫路城の裏鬼門として現在地に移る。



ゆかたまつり



江戸・吉原の高尾太夫を落籍した神原政岑が始めたといわれるが、姫路城の守り神である刑部大神を祀る長源寺の祭りに後世になって伝承が加えられたものである。全国の夏祭りの中でもトップをきっておこなわれる。



1 地域夢プランの歩み
～はじまりから～

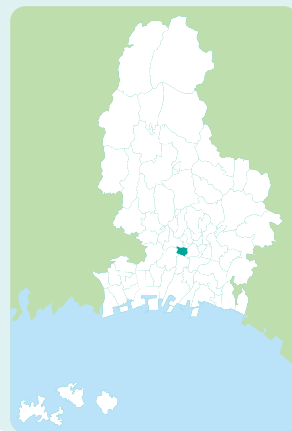
2 地域夢プランのかたち
～取組の類型化～

3 地域夢プランのとりえ方
～検証と未来へのアプローチ～
(1) 「姫路市地域夢プランの概要」

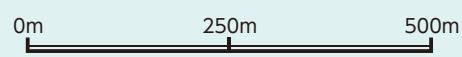
3 地域夢プランのとりえ方
～検証と未来へのアプローチ～
(2) 地域資源を活用したまちづくりと展望

4 地域資源の全リスト
～地区からの情報発信～
(1) 地区ごとの主な地域資源

4 地域資源の全リスト
～地区からの情報発信～
(2) 地域資源一覧



- 遺跡・史跡、歴史上の名所
- 神社・仏閣、歴史的建造物
- 歴史上の人物など
- 祭り 伝統行事
- 美術品
- 伝統芸能など
- 景勝
- 生物・花
- 町並み
- etc その他



荒川村耕地整理記念碑



昭和2年に荒川村の大字「土山」で耕地整理が行われた。昭和11年に姫路の大字となり、姫路市土山と呼ばれた。その後、昭和55年に土山の一部、花影、定元、神田町の一部が土山東の町となった。



船場本徳寺



通称「御坊さん」。東本願寺の別院。江戸初期、藩主本多忠政の時に創設。本堂・表門・鐘楼・大玄関等は、市指定文化財。明治天皇の訪姫の行在所が現存。境内に薬師山から移した明治維新の勤王志士12名の墓石や西南の役記念碑がある。



旧制姫路商業学校跡



明治44年北条口で開校の姫路市立商業学校は、大正3年にここに新校舎を建設し、後に兵庫県立商業学校となり、戦後まで存続した。以降、姫路市立琴陵中学校となる。その中学校も薬師山に移転し市街地化された。



千代田町の道標



兼田たばこ店の家の角に立っている古い道標。「あぼ志みち」と刻まれている。この南北の道が網干・室津へ通じる道であった。いつ頃のものははっきりしないが、昔の街道を思い起こさせる。



耕地整理記念碑



地域一帯は「福沢町」と呼ばれ、博労町・船場本徳寺から西はほとんどが田畑だった。大正11年に耕地整理する計画が立てられ、同13年起工、同15年竣工し、同年船橋・東雲・花影・神田・定元の町が生まれたことを記した碑。



白鷺橋



昭和初めに姫路城の中堀を埋めて国道2号を造った時に、船場川に架けられた。姫路大空襲で被災したが、昭和49年からの国道2号拡幅工事でも焦げ跡の残る欄干をそのまま使用し、橋を拡幅して平成3年に竣工した。



琴平神社



創立は不詳だが、江戸中期頃との説がある。船入川の船着き場が近くにあるため、琴平からの分霊をお祀りし、海上を守る神様、琴平大物主大神が祀られている。明治32年に元町の町内有志により、神殿・拜殿が修復された。



岬地藏尊



もとは船場川のすぐ西の低い畑の端にあり、江戸時代より川を上り下りする船を見続けていた。それを昭和の初め、今の高い位置に移し、それ以来、子供達が元気に遊ぶ様子を見守り続けている。



常夜灯



慶応4年(1868)につくられた。下の台に「あぼし むろつみち」と刻まれている。もとは、室街道の出口にあったものを千代田公園内に移した。



レンガ造りの工場



明治34年の地図に「燐寸(まっち)製造所」とあり、その頃からの建物と見られる。姫路ではレンガ造りの建物はほとんど見られなくなり、貴重である。現在、山陽色素(株)第二工場となっている。



1 地域夢プランの歩み
～はじまりから～

2 地域夢プランのかたち
～取組の類型化～

3 地域夢プランのとらえ方
～検証と未来へのアプローチ～
(1) 「姫路市地域夢プランの構築」

3 地域夢プランのとらえ方
～検証と未来へのアプローチ～
(2) 地域資源を活用したまちづくりと展望

4 地域資源の全リスト
～地区からの情報発信～
(1) 地区ごとの主な地域資源

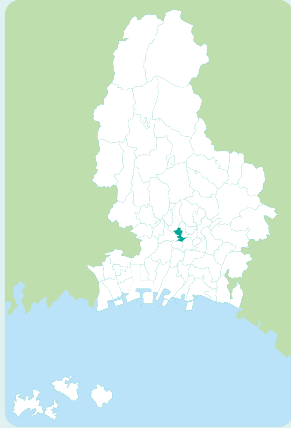
4 地域資源の全リスト
～地区からの情報発信～
(2) 地域資源一覧

6

じょうさい

城西地区

別紙MAP
D-6、E-6



- | | |
|------------------|------------|
| 遺跡・史跡、
歴史上の名所 | 伝統芸能
など |
| 神社・仏閣、
歴史的建造物 | 景勝 |
| 歴史上の
人物など | 生物・花 |
| 祭り
伝統行事 | 町並み |
| 美術品 | etc その他 |

市之橋の道標



大正14年に設置されたみちしるべ。「東へは石の宝殿・高砂へ、西へは書写山・粟栗郡へ、南へは飾磨町・室津港へ、北へは広峰山・増位へ」と印されている。



千姫の小径



船場川と姫路城の堀の間の遊歩道で、清水橋から白鷺橋の間をつないでいる。桜の木が植えられており、春には桜の花が咲き誇っている。



景福寺



瑞松山と号し、禅宗(曹洞宗)の寺院。藩主酒井家の菩提寺で、境内に幕末藩主の正室三代の墓石が並ぶ。飾磨県の仮庁舎にもなった。北側の山は景福寺山で、「播磨国風土記」の十四丘伝説の一つである「船丘」と推定される。



初井家



姫路を代表する文化人、歌人初井しづ枝の家。北原白秋に師事した初井しづ枝の作品は、姫路文学館に収蔵されている。当家は屋号を「英賀屋」といい、主屋は弘化元年(1844)に建てられ、その姿は西国街道の風情を今に伝える。



見星寺



禅宗(臨済宗)の尼院。裏の墓地には鉄牛和尚(塙団右衛門)の卵塔や城主本多忠政、政朝の五輪塔がある。境内の菩提碑は、寛延2年(1749)船場川の洪水被害の23回忌法要(安永2年(1773))で造られた。



船入川



江戸初期より、船場川には高瀬舟が上下していた。炭屋橋の下を通過して船場川と合流する船入川は、荷物の積み下ろし場や船溜まりであった。今は小さな公園になっている。



西国街道



西国街道は京・大阪より姫路城下を通り、西国・九州方面に通じていた主要街道で、福中門から北上し、龍野町を通過していた。往時は、姫路一の繁華な街道筋であった。町家が点在し、姫路初の商店街の面影が残る。



水尾神社



もともとは、伊和大明神を祀っていたが、これを総社へ移したことによって、総社の元宮と呼ばれている。江戸初期に大国主命を迎え、大年社歳徳大明神と称していたが、明治期の神仏分離の際に水尾神社と改称した。



千姫天満宮



千姫天満宮は、姫路城を一望する男山の中腹にある小さな社で、本多忠刻と再婚した千姫が元和9年(1623)に、本多家の繁栄を願い建立。城内から遙拝できるよう、東向きに造宮、西の丸長局の廊下から朝夕遙拝したと伝わる。



森家住宅



この建物は棟札によって、明治19年に建築されたことが確認されている。全体として改造が少なく、当時の町屋の様子を良く留めている。平成2年、市の都市景観重要建築物等に指定。



1 地域夢プランの歩み
～はじまりからこれまで～

2 地域夢プランのかたち
～取組の類型化～

3 地域夢プランのとらえ方
～検証と未来へのアプローチ～
(1) 「姫路市地域夢プランの風華」

3 地域夢プランのとらえ方
～検証と未来へのアプローチ～
(2) 地域資源を活用したまちづくりと展望

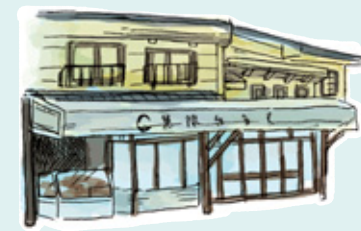
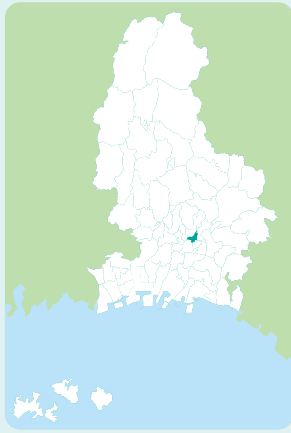
4 地域資源の全リスト
～地区からの情報発信～
(1) 地区ごとの主な地域資源

4 地域資源の全リスト
～地区からの情報発信～
(2) 地域資源一覧

7

のざと 野里地区

別紙MAP
E-6



町家(魚橋呉服店、大野家住宅など)



慶雲寺
お夏・清十郎の比翼塚



姫山の原始林*



野里の町名 etc

庚申堂

固寧倉
(野里慶雲寺前町)

◎野里小学校



◎姫路東高
姫路北高

歴史の道



野里門跡

ノコギリ型町並み
(福本町、八木町)

播但線



- | | |
|------------------|------------|
| 遺跡・史跡、
歴史上の名所 | 伝統芸能
など |
| 神社・仏閣、
歴史的建造物 | 景勝 |
| 歴史上の
人物など | 生物・花 |
| 祭り
伝統行事 | 町並み |
| 美術品 | etc その他 |



0m 250m 500m

慶雲寺



嘉吉3年(1443)創建、天正5年南室和尚が中興して妙心寺派となる。後に池田輝政が寄進した姫路城築城の木材で本堂等を再建した。観音堂の如意輪観音像は、輝政正室の督姫(家康娘)が寄進したもの。境内に「お夏・清十郎比翼塚」がある。



野里の町名

etc

池田輝政の城下町町割の時に外曲輪に町人地が設けられ、随願寺、慶雲寺、雲松寺等の門前町として栄えた。多くの町名は当時の商いや職種などによりつけられたと言われており、現在も29の町名が残る。いわれを説明する看板が各町にある。



お夏・清十郎の比翼塚



姫路城主榊原忠次の時代(1662年)に事件が起きた。但馬屋の娘と奉公人の清十郎との悲恋物語で、井原西鶴の小説の題材にもなった。比翼塚は、二人の霊を慰める為に但馬屋が建立したものと言われている。



野里門跡



池田輝政の姫路城築城が始まると野里村の西部を従来の城下町として野里とし、東部を野里村のままとした。その野里と姫路城の武家屋敷との間に設けられ出入口に当たるので「野里門」と名づけた。



固寧倉(野里慶雲寺前町)



飢饉に備えた備蓄倉庫。1853年建立。備蓄は、米25俵、麦36俵、粉俵など、1,402人の30日分の食糧にあたる。刀出、東山、白浜、妻鹿の固寧倉とともに市文化財に指定。弘化3年(1846)には藩内に288か所あった。



姫山の原始林



姫路城の防備となっている。築城以来一度も鋸をいれたことがないという原始林には約150種類の植物が見られ、姫路の気候に適した常緑広葉樹が多く生えている。中でもタラヨウという火事に強い木が最も多く植えられている。



庚申堂



庚申堂は城の裏鬼門にあたる魚町の西福寺にあったといわれているが、現在は誓光寺の境内に位置している。本尊は青面金剛童子。この堂は姫路城の表鬼門を守護しているものともいわれる。毎年8月1日に庚申祭が行われる。



町家 (魚橋呉服店、大野家住宅など)



門前町や城下町として、また交通の要所として栄えた野里は、旧野里街道を中心に、多くの町家遺構、歴史的町並みが残る。中でも、魚橋呉服店、大野家住宅は市の都市景観重要建築物等に指定されている。



ノコギリ型町並み (福本町、八木町)



家屋が道に対し斜めに建ち、隣家との間に小三角状の空き地を生じ、町並みがノコギリ状に斜向きに形成された。形成の理由は軍事説、地割説、方位説があり、はっきりしない。



歴史の道



堺町～橋之町～梅ヶ枝町に至る街道を旧野里街道及び旧野里街道という。この街道筋は、生野、但馬への交通の要所として、門前町や城下町として栄えた。また、野里小学校前の道は国の補助事業の「歴史的なみちすじの整備」が行われた。



1 地域夢プランの歩み
～はじまりから～

2 地域夢プランのかたち
～取組の類型化～

3 地域夢プランのとらえ方
～検証と未来へのアプローチ～
(1) 「姫路市地域夢プラン」の概要

3 地域夢プランのとらえ方
～検証と未来へのアプローチ～
(2) 地域資源を活用したまちづくりと展望

4 地域資源の全リスト
～地区からの情報発信～
(1) 地区ごとの主な地域資源

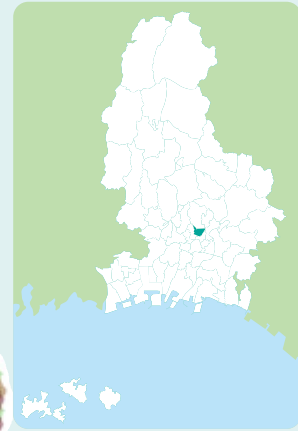
4 地域資源の全リスト
～地区からの情報発信～
(2) 地域資源一覧

8

じょうほく

城北地区

別紙MAP
E-6



-  遺跡・史跡、歴史上の名所
-  伝統芸能など
-  神社・仏閣、歴史的建造物
-  景勝
-  歴史上の人物など
-  生物・花
-  祭り 伝統行事
-  町並み
-  美術品
-  etc その他

赤鹿神社



応仁(1467~1469)頃、妻鹿城主貞祐の第三子定頼が伏見天皇行在所跡といわれる場所に赤鹿家を創始して、赤鹿神社を祭祀した。平成7年1月1日から赤鹿神社を赤鹿稻荷社に改名。



八代大歳神社



八代には南八代村の大歳大明神と北八代村の大歳大明神があり、明治44年に二社を合祀し、現在の場所(芝崎山)に移り、大歳神社となった。昭和26年、不審火により全焼。昭和33年社殿竣工。



桑原神社



桑原神社は旧伊伝居村の氏神で明治7年(1874)に村社に列せられた。御祭神は伊弉那美命(いざなのみこと)・中筒男命(なかつつのおのみこと)の二柱。



八代大歳神社 子供屋台の祭り



10月第2月曜日の前々日と前日に行われる。前々日(宵宮)は、子供屋台(5台)が威勢よく練り合わせを行う。前日(本宮)は、9台の子供屋台と2台の樽神輿が順次宮入をし、一年間の氏子の無病息災の御祓いを受ける。



桑原神社の狛犬



桑原神社にある狛犬。台座に明和元年(1764)と刻まれており、「姫路市の参道狛犬の中では最も古い参道狛犬」として知られている。



八代大歳神社 松平直矩寄進の鳥居



八代大歳神社の境内に、延宝8年(1680)に松平直矩が寄進した鳥居がある。



伝伏見天皇離宮跡の碑



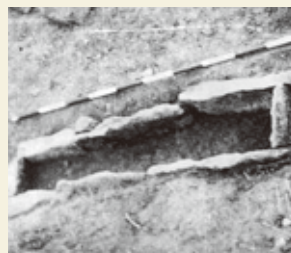
伝伏見天皇離宮跡の碑。この石碑は伏見天皇の離宮があったというので、昭和5年に郷土史家矢内氏が中心になって建設された。



八代山古墳



昭和26年に広嶺中の生徒が友達と水晶をとりに行った時に発見したもの。場所は金山から西に伸びる稜線。その後、芝崎山二号墳、東光寺山古墳と発見され、昭和45年から翌年にかけて八代山古墳群の発掘調査が行われた。



増位寺(随願寺の元の寺)の あった所



姫路市伊伝居字堂ノ元。井出村には昔「増位寺」という大きな寺があったようだ。「播磨鑑」や随願寺のご住職さんによると「増位寺(現在の随願寺)は井出村にあった」と言われている。



臨濟宗東光寺



創建年は不詳であるが、永仁年間(1293~1299)に創建されたと伝わる。その後戦乱で荒廃したが、伏見天皇(鎌倉時代)の離宮とされた由緒ある場所のため、池田輝政が現地に移建、跡地に姫路藩の御茶屋を創設した。



1 地域夢プランの歩み
〜はじまりからこれまで〜

2 地域夢プランのかたち
〜取組の類型化〜

3 地域夢プランのとりえ
〜検証と未来へのアプローチ〜
(1)「姫路市地域夢プランの構築」

3 地域夢プランのとりえ
〜検証と未来へのアプローチ〜
(2)「地域資源を活用したまちづくりと展望」

4 地域資源の全リスト
〜地区からの情報発信〜
(1)「地区ごとの主な地域資源」

4 地域資源の全リスト
〜地区からの情報発信〜
(2)「地域資源一覧」